

## 平成30年度 第3回 生乳検査外部精度管理調査結果（速報）

## 【乳成分】

- 「平均値」は全参加施設の測定値にスミルノフ・グラブス検定（参考資料③）を実施し、データクリーニングした後の平均値とした。<sup>注)</sup>  
注) 期日までに報告のあったデータより算出した。
- 「標準法測定値（参考値）」は公益財団法人日本乳業技術協会により以下の方法にて測定した。  

乳脂肪分	ゲルベル法	全乳固形分	常圧乾燥法
たんぱく質分	ケルダール法	無脂乳固形分	全乳固形分－乳脂肪分
乳糖分	レイン・エイノン法		
- 「乳技協FT1測定値（参考値）」は基本検量線“MILK”に対し、平成30年10月の校正乳を使用して新規に校正した検量線を用いて測定した。

(%)

区 分	試料	乳脂肪分	たんぱく質分	乳糖分	全乳固形分	無脂乳固形分
平均値	1	3.96	3.52	4.54	12.98	9.02
	2	3.90	3.45	4.52	12.82	8.92
	3	3.79	3.33	4.50	12.58	8.79
標準法 測定値 (参考値)	1	3.94	3.53	4.54	12.95	9.01
	2	3.88	3.46	4.58	12.80	8.92
	3	3.79	3.33	4.56	12.57	8.78
乳技協 FT1測定値 (参考値)	1	3.97	3.51	4.57	12.99	9.03
	2	3.88	3.43	4.53	12.78	8.90
	3	3.78	3.32	4.52	12.56	8.78

## 【体細胞数】

- 「平均値」は、全集計値から乖離値（平均値±σ以上）を除いた測定値の平均とした。
- 「標準値」は、精度管理マニュアル検討委員会の決定に基づき、4台のマスターマシン（フォソマチック）による測定値の平均値とした。

(単位：10<sup>3</sup>/ml)

区 分	試料A	試料B
平均値	198	324
標準値	200	330

注) 平均値は期日までに報告のあったデータより算出した。

## ※生乳検査精度管理認証制度の標準値について

認証の標準値は、結果報告書発送後（12/14頃）次のURLに掲載予定です。

<http://www.jdta.or.jp/seido3.html#3>

(本資料のお問い合わせ先：太田 TEL03-3264-1921)